

デザイン思考を活用した 探究型学習プログラム

多様な他者との協働を通して課題を見出し
創造的に解決していく考え方 = デザイン思考

東北芸術工科大学では、「デザイン思考」を探究的な学習や課題研究に取り組む
中学校・高校で活用できる手法と捉え、近隣の中学校・高等学校と協働しながら、
プログラム検討・授業連携を行っています。そして、ここ数年の協力校との試行
錯誤を経て、デザイン思考を活用した探究型学習「3段階の授業プログラム」を
指導案の形でまとめました。

デザイン思考を活用した探究型学習 3段階の授業

指導案

1

探究ガイダンス・安心かつ創造的な教室をつくる

生徒同士が安心して発言しあえる場を創ると共に、創造的な活動を行
いやすい空気をつくる。デザイン思考を活用した探究の基礎を学ぶ。

講義【創造的な活動を行うためのクリエイティブ・マインドを育む】

指導案

2

他者の視点に立つ探究の基本姿勢を育む

デザイン思考を活用した「探究的な学び5つの活動」の体験を通して
他者の視点から探究を進めるための基本的な取り組み姿勢を体得する。

演習課題例【友人のためのペンケースをつくる】

指導案

3

生徒に身近な課題で探究プロセスを体験する

生徒にとって身近な課題の設定を行い、探究のプロセスを体験する
ことにより、自らが設定する課題の見通しを立てやすくする。

演習課題例【校内の課題 / 生徒と校外をつなぐ課題】

※ 指導案1～3まで順を追った実施を推奨しますが、いずれか単独、またはいずれかの組み合わせで
実施することも可能です。

授業プログラムの概要

指導案 1 は、入学直後に実施する探究ガイダンスの位置づけであり、探究活動を行う上での基本的な心構えを体験的に理解する講義形式の内容です。

指導案 2・指導案 3 は、デザイン思考を活用した演習形式の内容です。

最初のページには活動の概要として、「身につく力」「活動の様子」「準備物」「教室のレイアウト例」「生徒の提案例」「生徒の振り返り」をまとめています。次ページ以降は、指導案を表の形に組み、縦軸に「授業内容」「活動のねらい(生徒の視点)」「評価(活動の見方)」「進行上の留意点」を、横軸には進行にかかる「活動の項目」と「目安の時間」を配置してまとめています。

トピックス +1 では、対面(密接)を避けてグループワークを行うための方法として、ブレインライティングを活用した活動案をご紹介します。

第4版の作成にあたり、「**深掘り!**」と「**よくある質問**」のページを加えました。

「**深掘り!**」では、指導案で紹介しているワークの考え方やツールについて深掘りしてお伝えしたい点をまとめています。

「**よくある質問**」では、連携授業後の振り返りの中で「疑問に思った点」を抜粋し、その回答を載せています。

本冊子の内容に関心を持たれた先生方へ

本冊子の内容にご関心を持たれた各校の先生方におかれましては、**本学教員による研修会を開催し、演習を体験いただくこと**をお勧めしています。

本演習では「理論と実践」による気づきが多くあり、「**体験的な学び**」を通して探究活動への理解が深まると、参加いただいた先生方からご意見、ご感想をいただいています。**生徒の視点に立ち、探究の楽しさや、つまづきやすいポイント等を肌感覚でご理解いただくこと**により、探究活動全体の見通しが立てやすくなりましたら幸いです。

教員研修会の後、使用したスライドとワークシートをお渡しいたします。是非、各校の先生方で試行ください。そして、各校の特徴を引き出す独自のスタイルへと導かれますこと、創造的な空気に包まれた教室で、そして校外で、生徒主体による対話的で深い学びが実現していくことを期待しています。

まずはお気軽にお問い合わせください。